

四 投資財生産額ノ再評價

米國ノ左表品目ノ投資額合計ハ全投資額ノ二三・五%ヲ占メルカキ
 コレニヨツテミレバソ聯邦一九三四年ノ投資額ハ四十億弗(八億二
 千萬磅)トナル。又一九二七―八年ハ物價ノ關係ヲ考慮スレバ三億
 五百萬磅デアル。

即チ一九二九―三四年ノ物價下落ノ結果トシテ、減少割合チ一〇%
 ト見積ルト七億三千八百萬磅トナリ、一九二七―八年分ノ數字ハ三
 億五百萬磅トナルワケデアル。(738X ³⁸⁷ 939)

第十一表 投資財生産額ノ再評價

品目	米國 (一九二九)		ソ聯邦 (一九三三)	
	數量	價額 (百萬弗)	數量	價額 (百萬弗)
セメント (百萬噸)	二八・九五	二七一	三・五六	三三
木材 (百萬立方米)	七五・一	一〇〇七	一八・九	二五三
				一八
				一三七

253

106

107

計	變壓器(百kW)	貨物自動車(百臺)	トラクタア(百臺)	貨車(百臺)	機關車(百臺)	銅鐵(百萬噸)	銅(千噸)
1	76	1	575	1	1	57.34	146.0
2,348	600	1	262	332	1	22.90	58.4
1	2,874	72.5	94.4	3,400	1,345	9.56	67.8
939	5	80	69	48	43	3.82	2.6
387	1	1	3	16	15	1.70	2.6

國民所得總額ノ再評價
 一九三四年度ノ國民所得總額ヲ英貨ヲ用テ要約シヨウ。
 第十二表 一九三四年度ノ國民所得總額

(1) 農村消費額	1,110	百萬圓
(2) 食糧	1	百萬圓

254

108

第十三表 人口一人當買收所得額（一九三四年時英國價格ニヨル）

一九一三年 二一・〇 磅

一九二七年八月 一九・四 磅

年次	(2) 其他	(3) 農村家屋賃貸料（推計額）	(2) 都市消費額	(1) 食糧	(2) 其他	(3) 投資總額	(4) 政府事業	以上總額	一九三四年時物價ヲ以テ表示セル	一九二七年八月時總額	一九一三年時總額
一九三四年	一八・一	一	二一・六	一六・五	二六・四	一三・〇	一	三、五、四、六	二、九、二、三	一	一
一九二七年八月	二六・三	五〇	三八・五	四八・〇	七三・八	五二・〇	一	二、八、八、六	一	一	一

109

一九三四年

二一 一億

トコロデ減額ガ一九三四年ニハ八十八億ル！ブル、一九一三年及一九二八年ニハ八千二百万磅アルカラコレヲ控除スルト次ノ如クナル。

第十四表 減額ヲ考慮シタ一人當所得額

年次	所得總額 (百万磅)	一人當所得額 (磅)
一九一三年	二八〇三	二〇・一
一九二八年	二八四〇	一八・八
一九三四年	三二九九	一九・六

六國民所得ニ關スルロシア官廳統計

サテ、今マデノ國民所得ハ著者及幾多ノ學者ノナシタモノデアルガ、ココニソ聯政府ノ統計ヲ掲ゲヨウ。

第十五表 ロシア官廳ノ統計

110

	一九二六—一七年物價ヲ以テ表示セル所得額 (十億ルビブル)	
	一九二七—八年	一九三四年
(一) 工業	六・九	二六・六
(二) 建築業	〇・七	六・五
(三) 運輸業	一・六	三・〇
(四) その他一切ノ非農業所得	四・六	九・七

第五節 一九三四年以後ノ經濟活動ノ概観

一九三四年以後ノ經濟的發展乃至國民所得ノ推移ヲミルニ先ダチ、
 コニニ國民所得ノ計算方法ヲ明瞭ニスルヲメニ、改メテ一言述ベラ
 ウ。

(一) 先ツ國民貨幣所得總額ハ小賣商ノ賣上高ハ此ノ期間ニ於テハ小賣
 商賣上高統計ニハ工場ノ倉庫給與額ガ含まレテキル。此ノ賣上
 高ヲ除ク消費財購入費、貸付料、鐵道運賃等、投資總額、政府
 事業ハ行政費及國防費ヲ含ム。但シ奨励金ニ現金ヲ支拂フ社會保

險料ヲ除クノループル價額ニ基イテ計算サレル。右ノ所得總額
 ニハ農家及協同農場ノ自給食糧ノ價額ヲ加算セオバカク又
 (2) 此ノ所得額ハ次ノ別ノ角度カラ計算サレタ所得額ト一致シナクテハ
 ハナラヌ。即チ賣銀、給料、農産物處分ニ依ル農家ノ現金收入、
 非組合所屬賣取人ノ所得、間接税ノ徵收額、工業利潤ノ國家徵收
 額ノ總額デアリ、此ノ總額ニハ前ト同様ニ農民ノ自給食料ノ價額
 トシテ隨意ニ定メ得ル數字ヲ加ヘナケレバナラナイデアル。
 三、新ル方法ニ依ル國民所得額ヲ、ソ聯邦商業會議所・ソ聯邦便覽及
 英露議會委員會所報ノ資料ニ依ツテ表出セバ次ノ如クデアル。

第十六表 一九三五―三七年ノ國民所得額

	十億ループル		
	一九三五年	一九三六年	一九三七年
(1) 小賣商賣上高	七三・八	八三・七	一〇五・五
(2) 家庭賣買料トソノ他ノ料金	二・五	三・〇	三・〇
(3) 政府投資總額	三五・二	三二・四	三九・〇

112

(4) 工業利潤徴収額ヲ財源トセル投資	五・九	八・一	(九・〇)
(5) 政府事業費	八・二	一四・八	二〇・一
(4) 國防費	一四・九	一六・〇	二一・〇
(甲) ソノ他(社會保險ノ現金拂戻額ヲ除ク)	一四〇・五	一五八・〇	一九七・六
(乙) 以上合計	五六・二	七一・四	七八・三
(1) 賃銀及給料	五六・九	七一・七	九〇・〇
(2) 間接税	二五・四	一	一
(3) 農民ノ現金收入	三・四	四・一	四・五
(4) 賃職人ノ所得	一四一・九	一	一
(乙) 以上合計	二、二九〇	二、六七七	二、五九四
(甲) 貨幣賃銀平均年額(ループル)			

トコロデ、一九三四年以後ノ國民所得ヲ別ノ資料ニ依テ訂正シ、更ニソレヲ英貨デ表スコトニシヨウ。

113

マツ所得額ノモノノ計算ニ先立ツテ必要ナル統計ヲ若干掲ゲル。
第十七表 人口一人當穀物年消費額

計	人口一人當穀物年消費額	
	一九一三	一九二八
農村人口	二三四	二二一
都市人口	一九〇	一七九
計	四二四	四〇〇
		一九三三(豫定額)
		二三四
		一七九
		四一三

第十八表 畜産物生産額

英國一九三四年度小賣物價ヲ以テ表示 セリ畜産物總消費高ノ推計價額(百萬 鎊)	一九二六!七年度相場ヲ以テ表示セリ 畜産物生産高ノ政府推計價額(十億 円)	
	一九一三	一九三七
六〇六	四・六	一
五〇〇	!	三・九
!	三・九	六・四

第十九表 一人當食糧消費額

114

年	右第十九表ヲ英貨ニテ表スト次ノ如シ。						一人當正貨ベンスニテ表示セル一人當食糧消費額
	計	(六) 牛乳及乳製品	(五) 肉及脂肪	(四) 植物油	(三) 馬鈴薯	(二) 砂糖	
一九三四年度 (ノイブル)	三三・五	五・二	四・五	〇・二	三・七	一・二	一九三四
一九三五年十月 現在物價ニテ表示	五三・三						一九三七
一九三七年 同一額	五三・三	三六・六	六・〇	五・七	〇・三	二・二	一九三七

第二十條 労働者一人當支出額 (ノイブル)

年	額
一九三四年度 (ノイブル)	二一・五
一九三五年十月 現在物價ニテ表示	五三・三
一九三七年 同一額	五三・三

261

115

(一) 石	(二) 銅	(三) 石	
炭	鐵	油	一九三四
一、一五一	一、四五五	五、一五五	一九三五
一、三三五	一、八九〇	五、三五五	一九三六
一、五一五	二、四三五	五、八一	一九三七
一、五〇二	二、六七五	五、九〇	

即チ一九三七年ノ労働者一人ノ食費支出月額ハ一、二〇・九デアル。
 次ニ工業ニ移ル。
 第二十一表 ロシア工業生産額(百萬元フラン)

(一) 肉	(2) パ	(3) 砂	(4) 馬	(5) 牛	(六) ソノ他ノ購入食費	(七) 工場支給食
類	夕	糖	鈴	乳		
二九・九	七・四	三・二	三・八	四・二	四・八・五	一・八・〇
一・九	四・一	二・四	一・一	三・四	二・九・九	一・八・〇
二・三・九	四・七	四・四	一・四	三・一	三・八・〇	二・九・六

262

116

(4) 政府事業ト國防費	(3) ソノ他ノ小買商品	(2) 家 庭 需 費 料	(b) 都 市		(1) 食糧消費額
			(a) 農 村	(a) 農 村	
一三・〇	三三・一	三三・五	二一・六	一	一九三四 (十億ルーブル)
五二・〇	五九・六	五九・六	三八・五	一一・〇	一九三四 (百萬磅)
四一・一	七〇・六	二・五	三・九	一	一九三七 (十億ルーブル)
		二一・五		一七〇五	一九三七 (百萬磅、一九三 四年時物價に依り)

第二十二表 一九三四年及一九三七年ノ國民所得

此ノ外ニ投資及減價評價ノ問題ガアルガ、コレラノ要素ヲトリ入レ、
今マデノ統計ニ基イテ一九三七年度ノ國民貨幣所得ヲ完全ニ再評價
シ得ヨウ。

合 計	四ノ他
五八三六	二七一五
七三〇六	三五四六
九〇三七	四五〇六
八五二九	三七六二

265

117

(5) 投資總額	二六・四	七三八	四七・〇	三〇九二
(a) 內國投資額	—	—	—	—
(b) 外國投資額	—	—	—	—
(一) 以上合計	九五・六	三五四六	一九七・一	五〇六七
(二) 減價評價額	八・八	二四七	—	四三〇
(三) 純所得額	—	三二九九	—	四六三七

次ニ一人當所得額ヲミヨウ。

第二十三表 一九三四年及一九三七年一人當所得額

商工業業者	人口(百萬人)	一九三四年度		一九三七年	
		物價二依ル所得額	一人當所得額(磅)	物價二依ル所得額	一人當所得額(磅)
計	六四・一	四六三七	七二・三	五一・〇	—
農業者	四〇・一	一七〇五	四二・五	三七・五	—
工業業者	二四・〇	二九三二	一二二・二	八五・五	—

118

右ニ依レバ總労働人口一人當平均所得額ハ一九三四一三七年向ニ四
 二%ノ増加ヲ示シテキルワケデアル。

265

第二章

グラデミール、カーツ

一 本資料ハソヴィエト聯邦ノ黨出版所發行（一九三二年モスクワ）
ウラヂーミル・カーツ著「ソ聯國民所得トソノ分配」ノ日本語全訳

（滿鐵調査部第三調査室譯ソ聯研究資料第四十二號）昭和十四年十一月）カラノ抜粹デアル。

三、イフマデモナクソ聯ノ國情カラ明ラカナ如ク、原著ハ全面的ニマルク
ス主義ヲ採ツテキルノミナラズ宣傳的ナ色彩モ相當アルトミナケレバ
ナラナイ。サレバ本資料ニ關シテハ、方法論的及ビ宣傳的ナ
偏所ハ無視シ、直接國民所得研究ニ役立ツ點ノミヲ摘要シタワケデア
ル。

三、コレヲ原著ノ章別ニミルニ、「第三章ソ聯邦ノ國民所得ニ關スルマル
クス主義的見解トブルジョアの見解並ビニソノ計算ノ方法論」ノ一部
分「第四章國民所得ノソヴィエト的增加率ノ特殊性」ノ概要、並ビニ
「第五章ソ聯邦國民所得ノ部門別・經營別構成ノ動態トソノ特殊性」

ノ概要等ガ拔萃サレテキルノデアアル。尙本資料ノ章別ガソレゾレコレラノ章ニ當ツテキル。

四、著者ハ幾多ノ學者ノ著述ヲ縱横ニ引用シテキル。併シ、本資料デハスベテ出典ヲ省イタ。

第一節 ソ聯邦ノ國民所得ニ關スル見解

竝ニ其ノ計算方法

一、ソ聯邦ニ於ケル國民所得ノ研究ハ、國民所得形成上ノ諸過程ノ上ニ、並ビニ社會主義社會ノ建設トイフ基本任務ニ合致シタ國民所得ノ構成ト運動トヲ規定スル上ニ、最モ效果的ナ作用ヲ及ボスタメノ前提デアアル。從ツテ國民所得ノ計算ハ其ノ全体的規模ヲ規定スルダケデナク、國民所得ノ生産的、經濟的並ビニ社會的、階級的構成ヲモ明ニシナケレバナラヌ。斯ル詳細ナ研究ニヨツテ初メテ國民所得ノ計算ハ、其ノ運動上ノ種々ノ新傾向ヲ規定シソノ構成ノ特殊性ノ分析ヲ行フ出發點トナリ得ル。サテ國民所得計算ノ方法論ハ獨自ノ科學的、實踐的興味ノアル事項デアルガ、國民所得トイフ範圍ハマダ今日マデ經濟書ニ於テ系統的ナ理論的研究ガ行ハレテキナカ

120

244

121

ツタ。カク單一ノ理論的概念ハナカツタトハイフモノノ歴史のニミ
 レバ、基本的ナニ方法、所謂現實的、客觀的、物的方法ト私的、客
 觀的、人的方法ガ行ハレテキタ。

第一ノ物的方法デハ國民經濟部門デ造出サレタ純生産高（ソノ合計
 ガ國民所得ニ等シイサレル）ヲ計算スルタメ統計的資料ヤ生産額查
 必使用ガ基礎トナツテキル。第二ノ人的方法デハ個人收入（ソノ單
 ナル統計ガ國民所得ニ等シイトサレル）ヲ規定スルタメノ租稅統計
 資料ガ主トシテ用ヒラレテキル。トコロデ或部門デ造出サレル原料
 ヤ半製品ハ最終生産物（完成品）製出ノタメ他ノ部門デ再製サレル
 ノダカラ、各部門ノ總生産高ノ單ナル合算ハ原料・半製品ヤ固定資
 本ソノ他ノ生産的消費ノ諸要素ノ價值ヲ二重計算スルコトニナル。
 斯ル二重計算ヲ避ケテ一國ノ經濟活動ニ對スル正シイ觀念ヲ得、各
 部門ノ比重ヲ知ルタメニ所得「純生産高」ノ計算ガ行ハレル。コレ
 ハ各部門ノ總生産高ノ中カラ所與ノ部門デ生産物ノ生産ニ充テラレ

122

タ生産的消費ノスベテノ要素(消費サレタ原料・固定資本ノ減價償却等)ヲ控除シテ行ハレル。斯クシテ出來タ残高ハ一定期間例ヘバ一年ノ間ニアル部門テ費サレタ社會的勞働ノ對象化サレタ結果ヲ示スモノデ、コレハ純生産高トシテ國民經濟ノ他ノ諸部門ノ純生産高ト合算サレテ一國ノ國民所得ガ得ラレル。コレガ國民所得ノ生産的計算方法或ハ現實的計算方法ノ基本的特徴デアアル。

トコロデ生産的・現實的・客觀的・物的の方法ニハ次ノヤウナ問題ガ起ル。

(a) ドンナ勞働部門ガ國民所得ノ造出ニ參加スルノカ。非生産的ノ勞働部門(例ヘバ官吏・警官・軍隊等ノ勞働、アルヒハ家庭ノ主婦、仕事マデモ)ヲ含ムノカ。

(b) 各部門ニオケル國民所得ヲ計算スル際其ノ對象ハ何デアルカ。新ニ造出サレタ價值(V+M)デアアルカ、ソレトモ此ノ價值ガ所與ノ部門テ得ラレタ勞働者ノ賃銀ト資本家ノ純利潤(支拂ハレタ利

子及租税ヲ控除シタトニヤガテ分解スル、其ノ諸部分デアルノ
カ。

(1) 國民所得算出上ノ純生産高ノ評價自體ガ困難ガアルマイカ。蓋シ、
直接的勞働計算ガ行ハレルノハ計畫ガ共產主義社會ノミダカラ、
資本主義社會デハ價格ノ問題ガアツテ、ムツカシイワケデアル。
一方私的方法ハ分配諸關係カラ出發シテキルノデアアルガ、コレモ
國民所得ハ各個人所得ノ合計ダトスル觀念ニ到達シテキル。ソ聯
デハ國民所得チ「所得ノ合計」ダトスル解釋ハ採ラヌ。ソレニ私
的方法ハ、ソレガ所得ノ源泉ガ物質的生産部面ノ活動デアアルカ、
ソレトモ他ノ部面ノソレデアアルカニ關係ナク凡ユル所得チ原則的
ニ同一價值ノモノト考ヘテキルガタメニ、コノ點デモヨクナイ。
抑、兩方法ヲ判然ト區別シ對立サセルノガ誤リデアアル。何故ナラ
バ、ソレハ分配諸關係ガ社會的生産方法カラ分離シテキルト假定
シ、生産方法固有ノ諸關係カラ分配諸關係カラ分配諸關係ハ獨立

124

シテ分析シ得ルト假定シテキルカラデアアル。
 我々ハ國民所得ヲ基本的ナ所得ト副次的ナ所得ニ分割シナケレバ
 ナラヌ。即チ社會的物質的生產部面ガ直接ノ源ヲナス所得ヲ基本
 的所得トナシ、全社會テ行ハレル國民所得再分配ノ過程ニ基イテ
 起ル所得ヲ副次的所得トナス。資本主義國ニ於テ社會經濟的組成
 ノ物質的生產部面ニオイテ付加サレル凡ル勞働ヲ、(ソ聯ニ於テ
 ハ社會、基本的所得(國民所得)ヲ造リ出ス勞働ノ中ニ無條件的
 ニ含メル。スベテノ生產的勞働(物資的生產部面テ行ハレル勞働)
 ハ又價値ヲ造リ出ス勞働デアリ、從ツテ國民所得計畫ニ際シテ計
 算ニ入ル。國民所得ノ計算ニ入ラナイノハ價値ヲ造出シナイ勞働
 ノミデアアル。ヨレニ屬スルノハ非生產的勞働ノ全部面デアツテ、
 其ノ部面ノ人間達ハ他人ノ新ニ造出シタ價値ト剩餘價値ヲ消費シ
 テ生活シテキル。

私的資本主義部門及單純商品生產部門ノ勞働ハソ聯ノ國民所得計

271

125

算ニ入ル。此ノ如ク「國民經濟ノ各部門ノ純生産高ト、~~全體ト~~
 (全體トシテノ)國民所得トガ、其ノ中デ動イテ行ク社會的諸部
 門」ノ計算トイフ。此ノ方法ノ統計的形態化ハ、今マデノトコロ、
 我々ガ社會主義部門ト並ベテ研究シツ、アル個人經濟ガ、資本主
 義部門ト非資本主義的單純商品生産者ノ部門トニ分タレテキナカ
 ツタタメ、未ダ徹底的デハナイ。併シ其ノ進歩ノ傾向ハアル。要
 言スルニ、ソ聯ノ國民所得ハ資本主義ノソルト異ナリ、新ニ造出
 サレタ價值デハナクシテ、商品形態(ソ聯邦經濟ノ二重性カラ生
 ズル特殊ナ二重性ヲ有スル)ヲ採ル社會的生産物ノ、新ニ造出サ
 レタ部分ナノデアアル。
 尙ホ具體的ナコトハ、卷末ニ付表ヲセルカラ、明確トナルデア
 ロウ。